

所属・氏名（ 健康科学部 社会学科 氏名：西村 いづみ ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 『社会再構築の挑戦—地域・多様性・未来—』	共著	2020 年 10 月	ミネルヴァ書房	著書全体の概要：都市社会学、地域福祉学、沖縄研究、障害研究、地域福祉、移民研究、宗教社会学、生活史研究などの専門家が、社会の現状分析を試みた論文集である。（総頁数：412 頁） （著書全体の著者名：谷富夫・稲月正・高畑幸（編著）、西村いづみほか 20 名、計 24 名） 担当部分の概要：「第 13 章 学齢期の発達障害児の家族の支援に向けて—母親のケースヒストリーから—」を担当。学齢期の発達障害のある子どもの母親の子育てを通じた経験を面接調査にて明らかにした。母親は、発達障害があることに起因する不利益から子どもを保護しながら、子どもの「不適応」とみなされる行動を制御しようとし、また、わが子をそのまま理解し受け入れる人・場の重要さに気づいていった。就学以降も子どもと家族に伴走し続ける支援体制が求められる。（担当頁：pp. 212-217、単著）
2 (著書) 『保育者論』	共著	2022 年 3 月	みらい	著書全体の概要：保育士指定科目『保育者論』にて、保育士が修得すべき事項について解説している。（総頁数：103 頁） （著書全体の著者名：西川ひろ子・中原大介（編著）、西村いづみほか 17 名、計 20 名） 担当部分の概要：「第 8 章 3 節 医療機関との連携」、「第 9 章 3 節 子どもの生命を守るための地域との連携」（要保護児童対策地域協議会）を担当し、多職種・多機関との連携の重要性および保育士の役割を解説した。（担当頁：pp. 67-69、pp. 76-79、単著）
3 (著書) 『エピソードでわかる子ども・子育て支援—子どもの育ちを支える』	共著	2025 年 10 月	北樹出版	著書全体の概要：具体的な事例を通して子どもの育ちを支える支援の考え方と実践のポイントを解説している。（総頁数：141 頁） （著書全体の著者名：西村太志・古谷嘉一郎・梅田弘子・山崎茜（編著）、西村いづみほか 39 名、計 43 名） 担当部分の概要：「エピソード 29 “ホッと、ワクワク” 放課後の社会的居場所」を担当した。障害のある子どもに対する発達支援について、放課後時間の重要性、障害児通所支援の一つである放課後等デイサービスの意義などを解説した。（担当頁：pp. 70-71、単著）
4 (学術論文) 「放課後活動利用にみる発達障害児と家族の社会状況—母親を対象としたインタビュー調査からの考察—」 (筆頭論文)	単著	2018 年 11 月	子ども家庭福祉研究第 18 号	発達障害児をもつ母親に対し放課後活動利用に関するインタビュー調査を実施した。結果、母親は、子どもの社会的居場所を放課後活動に求めること等が明らかになった。放課後活動の選択には発達障害児・者支援体制が機能していないことに起因する子どもの将来に対する母親の不安が影響していることが示唆された。（西村いづみ）（担当頁：pp. 25-41）
5 (学術論文) 「新型コロナウイルス禍における学内保育実習の試み—児童福祉施設との協同—」	共著	2021 年 3 月	広島国際大学医療福祉学科紀要第 16・17（合併）号	ICT を活用した学内実習の取り組みを報告した論文である。担当は「母子生活支援施設との協同によるプログラム実施の実践と学生の学び」であり、オンライン・リアルタイムによる施設利用児への設定保育や VR ゴーグルによるウェブ施設見学等の実践および当該施設職員へのインタビュー調査をまとめた。（岡本晴美、西村いづみ、光盛由美）（担当頁：pp. 84-89、単著）